



東京都高齢者福祉施設協議会が 取り組む“7つの宣言”×SDGs



医療・介護・福祉のシゴトとサービス

東京都内の社会福祉施設にて組織される「東京都高齢者福祉施設協議会」(以下高齢協)では、超高齢社会を迎えた日本で、高齢協が策定した「アクティブ福祉グランドデザイン2017～7つの宣言～」に準じた取り組みを通じてSDGs(持続可能な開発目標)の推進につながるさまざまな福祉事業を実施しています。本特集ではそれぞれの宣言と、その取り組みを関連するSDGsの目標と併せて紹介していきます。

● 東京都高齢者福祉施設協議会とは？
東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。(会員数約1,200施設・事業所)

高齢協の推進する「アクティブ福祉グランドデザイン2017」

日本では高齢者の福祉を地域で進める「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、さまざまな施策が行われていますが、超高齢社会の進行や地域のつながりの減少などにより、社会が直面する高齢者福祉の課題はますます難しくなっています。高齢協では東京の高齢者福祉の維持・発展のために取り組むべきことを「アクティブ福祉グランドデザイン2017」として策定し、地域包括ケアシステムの担い手として社会の期待に応えるべく具体的な「7つの宣言」として取りまとめ、行動を通じて実現に取り組んでいます。



SDGsとは？
持続可能な開発目標(SDGs)とは2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。日本でも積極的に取り組んでいます。

「7つの宣言」とそれぞれの具体的な取り組み

1 **3** すべての人に健康と福祉を

【宣言】
私たちは、質の高い高齢者福祉・介護サービスを提供します。

介護を通じてQOLを高め、需要の高まる看取りや認知症に対して専門的なケアを提供

取り組み① 介護サービスを通じたQOLの向上
高齢者施設では多様な生活支援サービスを提供しています。それに加え、施設内での活動や地域との交流などの社会参加を促進し、利用者が生きがいのある生活を送れるよう取り組んでいます。

取り組み② 特別養護老人ホーム(特養)での看取りの実施



ご家族と職員による看取り

取り組み③ 質の高い認知症ケアの実施
増加する認知症の方に対し、その方の尊厳に配慮した最新の研究に基づく認知症ケアを実施しています。また、地域での認知症サポーター養成講座の開催や関係機関との連携などを通じて、地域全体で認知症の方を支えるネットワークを構築しています。

2 **3** すべての人に健康と福祉を **11** 住み続けられるまちづくりを

【宣言】
私たちは、地域が求める高齢者福祉・介護サービスをつくり出します。

地域の特性に応じて、行政や地域と連携した地域密着の複合型サービスを提供

取り組み 地域のニーズにこたえる地域密着型サービスの推進

要介護となっても地域で暮らし続けられるよう、見守りを兼ねた「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や、施設の通いを中心に短期間の宿泊や自宅訪問などを組み合わせられる「小規模多機能型居宅介護」など地域密着型サービスの普及が期待されています。高齢協の会員施設は地域の自治体と連携して地域密着型サービスに参入し、地域包括ケアシステムの実現を推進しています。

3 **3** すべての人に健康と福祉を **10** 人や国の不平等をなくそう

【宣言】
私たちは、さまざまな課題を抱える高齢者の暮らしを守ります。

高齢者の孤立・被虐待や経済困難への対策を行っています

取り組み 介護にとどまらない生活に困難を抱える高齢者への支援

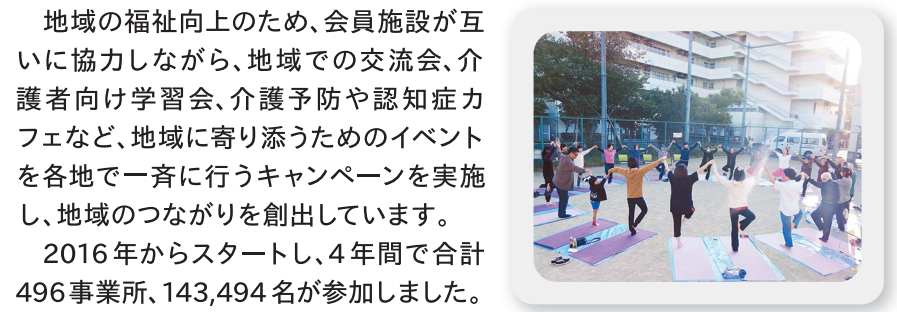
生活に課題をもつ高齢者に安心な生活の場を提供する養護老人ホームでは、その方の日常生活能力に合わせた対応や、被虐待高齢者や心身に障害がある方の受け入れなどを行っています。また地域包括支援センターでは、課題の早期発見・解決のために地域ケア会議や民生委員、地域サロンにて情報共有し相談などのアプローチをしています。

4 **3** すべての人に健康と福祉を **10** 人や国の不平等をなくそう

【宣言】
私たちは、生活困窮者支援などの地域公益活動をすすめます。

イベントを通じた地域のつながりを創出や、子どもへの支援も

取り組み① つながれひろがれちいきの輪 in TOKYO キャンペーン



つながれひろがれちいきの輪

取り組み② 子ども食堂
子どもの食育や学習支援を行う放課後の居場所として、複数の法人が子ども食堂を開いています。地域の高齢者がボランティアとして参加しており、多世代での交流を創出しています。

高齢協WEBフォーラム開催

10月16日、高齢協では大都市東京の介護をテーマとしたWEBフォーラムを開催いたしました。当日は「アクティブ福祉グランドデザイン2017」などの活動報告や、福祉業界のこれからについての国会議員へのインタビューなどが催されました。本フォーラムは高齢協HPまたはYouTubeチャンネルにて、動画を公開していますので、ぜひご覧ください。

5 **11** 住み続けられるまちづくりを **13** 気候変動に具体的な対策を

【宣言】
私たちは、地域の防災拠点としての役割を果たします。

災害時、高齢者や要介護者など避難が困難な方の受け入れをしています。

取り組み 災害発生時への備え

施設は災害発生時の避難に困難を抱える地域の高齢者や要介護者の受け入れのために、必要な設備や物資を準備し、福祉避難所として自治体と協定を結んでいます。令和元年の台風19号のピーク時には、472名の避難者を受け入れました。



防災訓練の様子

6 **8** 働きがいも経済成長も

【宣言】
私たちは、高齢者福祉を担う人材の確保をすすめます。

人が人を支える価値ある仕事の魅力を発信し、働きがいのある環境づくりをしています

取り組み ホームページ・Facebookなどで情報発信を行っています。また、現場の職員からの介護職のやりがいを発信する若手介護職員のユニット「東京ケアリーダーズ」を結成し、さまざまな活動を行っています。

また、「東京の介護ってすばらしい! グランプリ」をホームページ・ランチ・メッセージ部門(2019年度)で開催。表彰式にはゲストを招き、介護の魅力を伝えています。

7 **3** すべての人に健康と福祉を

【宣言】
私たちは、地域に貢献する福祉人材を育てます。

多様化する介護ニーズに応えるための研修と、先進事例を共有する研究大会を開催しています

取り組み 高い専門性を持った介護・福祉人材育成のために、職種別・分野別の各種研修を年間50回以上開催し、延べ3,000人以上が参加しています。

また、年一回、福祉介護の実践・研究発表大会「アクティブ福祉in東京」を開催し、各施設の先進的な介護技術などの取り組みを共有しています。



アクティブ福祉in東京

まとめ 東京における高齢者福祉施設の取り組みは今後さらに重要性を増していきます。高齢協では地域のだれもが安心して暮らせるよう、地域の福祉の向上に向けて日々行動しています。7つの宣言の実現に向け、これからも行動と発展を続けていきます。